

事業評価票（情報システム関係予算）

31	CALL 教室の整備（都立高等学校）	運用開始	昭和 63 年度		
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 都立高等学校において、情報化・国際化時代に対応する教育を進めるため、平成16年度からPC教室（パソコン教室）とLL教室（言語実習教室）を統合し、CALL教室として整備している。 				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の学習指導要領改訂において情報の活用・情報モラルなどの情報教育の充実や、外国語教育におけるコミュニケーション能力の育成が重点事項となっており、CALL教室利用の増加が見込まれるため、各校の教育課程に応じて適切に整備する必要がある。 長期継続契約が満了する機器について、適切に更新する必要がある。 				
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> 長期継続契約の満了に伴い、機器の入替えに要する経費を精査し、計上する。 その他経費については、所要の精査を行い、計上する。 <p>【平成27年度見積事項】 機器関連経費、運用経費</p>				
	27年度見積額	898 百万円	26年度予算額	901 百万円	25年度決算額
行政改革推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 経費の積算は、契約実績を踏まえており、妥当である。 長期継続契約が満了する機器については、学校単位での調達方法を見直すこととしており、妥当である。 	妥当	見直し	見送り	
		27年度所要額	898 百万円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 	妥当	見直し		
		見送り	その他		
		27年度予算額	898 百万円		
32	成績等管理サーバ（教育庁総務部）	運用開始	平成 22 年度		
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 校務情報化による校務処理一元化・公立化・高機能化の中で、都立学校の教職員が行う成績処理において、児童・生徒の成績等機密情報の適正な管理や情報セキュリティ確保を実現するためのサーバ環境である。平成22年度から運用開始し、約250校にて利用する。 				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 校務のより一層の効率化・高度化を図るよう、性能改善へ取り組み等により継続して安定運用を行う必要がある。 指導要録の電子化及び長期保管により、誤廃棄又は紛失を防止する必要がある。 現行サーバ機器等の使用年限の経過により、機器更新が必要である。 				
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> システムの運用経費については、実績及び平成27年度機器更新の実施を踏まえて経費を精査し計上する。 <p>【平成27年度見積事項】 運用経費、ヘルプデスク対応経費、平成27年度機器更新に伴う移行支援経費及び改修経費、更新後の機器賃貸借料等</p>				
	27年度見積額	171 百万円	26年度予算額	77 百万円	25年度決算額
行政改革推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 機器更新に伴う移行支援経費及び更新後の機器賃貸借料等については、機器調達における競争性を確保するために必要な経費である。 改修経費については、平成27年度に実施する移行設計を踏まえ精査する必要がある。 その他の経費については、精査されており、妥当である。 	妥当	見直し	見送り	
		27年度所要額	171 百万円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 	妥当	見直し		
		見送り	その他		
		27年度予算額	171 百万円		